

2009年度 企業の投資決定のポイント

現地の製品需要が旺盛又は今後見込まれる	68.1%
良質で安価な労働力が確保できる	26.2%
納入先を含む他の日系企業の進出実績がある	25.6%
進出先 近隣3国で製品需要が旺盛又は今後の拡大が見込まれる	22.5%
品質価格面で日本への逆輸入が可能	11.3%
税制融資等の優遇措置がある	10.6%
部品等の現地調達が容易	7.5%
現地政府の産業育成、保護策	6.7%
社会資本整備が必要水準を満たしている	6.5%
技術者の確保が容易	5.4%
無回答	4.7%
土地等の現資本が安価	4.5%